



3月号⑥
2025.3.19(木)

文責 本宮小校長 佐久間仁

本田、修了式を行いました。式では、修了者三百五十七名を代表して五年生に修了証書を手渡しました。式では、三学期を振り返り、次のような話をしました。

「三学期の学習・生活面においては、苦手なこと、不得意なことも克服できるよう努力を重ねてきました。特に、学習面では、学力テストや漢字検定を目標して、国語や算数の問題に粘り強く取り組み、学んだことを使って、自ら考へる力を身に付けました。体力面では、なわどび記録会に向けて、様々な種目に挑戦し、記録を伸ばすことができました。三年生以上はスキー教室に参加し、スキーの技能を高めました。体を動かす楽しさや、できないことができる喜びを感じることができました。

明後日は卒業式

卒業式の会場準備を行いました。各担当ごとに協力しながらいす・テープルを並べたり、花を運んだり、掃除をしたりしました。一時間ほどの作業で、会場は見違えるようになります。五年生の働きぶりに、次年度最上級生になる自覚と意気込みを感じました。明後日の卒業式でも、六年生に安心して卒業してもらえるよう、立派な態度で式に臨んでくれることと思います。頼もしい新リーダーに期待しています。

四十九日間、皆さんに、元気に学校に通うことができたのは、皆さんの頑張りと、家族の皆さんの励ましや地域の皆さんの見守りがあつたおかげです。自分を支えてくださる方への感謝の気持ちを忘れずに、今後も健康に気を付けて元気に生活してください。」

本日、修了証書とともに、通知票を渡しました。子どもたちが夢と希望をもって次の学年に進むことができるよう、これまでの頑張りをほめ励ましてください。保護者の皆様の温かいご支援ご協力に感謝いたします。

〔六年生の作文〕

◇私は、お母さんやお父さん、一年生から五年生のみんな、先生方に今までの感謝が伝わるような卒業式にしたいです。

間半、そのうち別れの言葉などを
のぞいても、約一時間の間、背筋
を伸ばして座っているのは、とて
もつかれるけれど、がんばりたい
です。

今までの感謝が伝わるよつにす
るたぬに、特に「歌の調拂」「卒
業証書じゆよ」「親への花束やうて
い」「歌」をがんばります。

別れの言葉では、一言一言に強
い思いをこめて大きな声でハキハ
キと話すことをがんばりたいです。

と「旅立ちの田」を歌います。特に「旅立ちの田」はアルトなので、つられないように歌いたいと思います。

卒業証書じゅよでは、今までの感謝の気持ちをこめて、きちんと先生の印を見て、卒業証書を受け

取りたいです。
親への花束やうていのときは、
「こじまで育ててくれてありがと
う。今、~~お~~おめでとうござい。

う今卒業証書をもらいたよ」という思いで、花束を親にわたしたいです。

歌では今までの練習の成果を発揮して、体育館にいるみんなの心にひびくような美しい声で歌いたいです。 (長沼 夢)

◇迷くは、卒業式は親に成長を認められたいのです。

まず入場のときは、礼をしてから番号順と反対に並んで入場するので、まちがえないようにしたいです。

次は姿勢です。卒業式は約一時

栄光を讃えて



A cartoon illustration of two children, a boy and a girl, standing side-by-side. They are both smiling and holding up their decorated ice cream cones with both hands. The boy is on the left, wearing a light blue long-sleeved shirt, dark blue shorts, and white shoes. The girl is on the right, wearing a light blue dress with a belt and white shoes. Each ice cream cone has a pink flower on top.

栄光を讃えて

【漢字検定小学生の部】

五年 渡邊蒼汰 三級 百七十三点

【英語検定小学生の部】

六年富塚絢翔四級七百三十九